

第5章 産業・交流

18. シティプロモーション

19. 農業

20. 商工業

基本施策18 シティプロモーション

担当 秘書政策課・シティプロモーション課

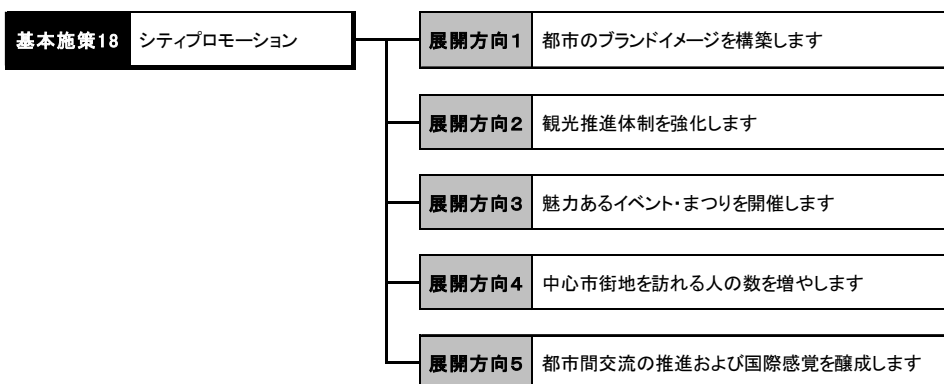
◆基本施策の目的

さまざまな地域資源を活用し、本市のブランド力を高めるとともに、本市の魅力を市内外に発信することにより、本市に「訪れたい人」「住みたい人」「住み続けたい人」を増加させます。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
小牧市の定住人口	人	153,170	153,680	153,526	153,335		H30の推計人口を上回る
小牧市の交流人口	人	2,318,896 (H24年)	2,213,229 (H26年)	2,053,144 (H27年)	1,985,733 (H28年)		↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H30～H32 事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度
1	《再掲》 地域ブランド戦略推進 事業 【秘書政策課】	18,970	実施	⇒	⇒
67	観光推進事業 【シティプロモーション課】	5,000	実施		
68	夏まつり検討支援事業 (平成夏まつり支援事 業) 【シティプロモーション課】	960	実施		
69	姉妹都市・友好都市交 流事業 【シティプロモーション課】	21,591	拡充 実施		

拡充

観光推進事業

地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 予算額 44,755千円

2 目的及び効果 平成28年3月に策定した小牧市観光振興基本計画及び観光重点プランに基づき、観光推進施策を積極的に展開するため、小牧市観光協会への事業費補助を拡充するなど、本市への来訪の動機づけ及び誘客に結びつけます。

3 事業概要

(1) **拡充** 観光関係団体事業費補助金

観光の推進役として位置付ける小牧市観光協会に対し、旅行会社や来訪者が必要とする情報の発信機能(観光協会のホームページリニューアル、名古屋コーチン・教育旅行宣伝用パンフレット作成)の強化のための事業費補助を拡充します。

(2) **新規** 小牧山春のキャンペーン

3月から5月までを「小牧山春のキャンペーン」と銘打ち、小牧山さくらまつりをはじめ、期間中、小牧山及びその周辺で実施されるイベントなどについて、包括的に観光プロモーションを展開し、小牧山及びその周辺の周遊に繋げます。



新規

夏まつり検討支援事業

地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 事業年度 平成29年度～30年度

2 予算額 960千円

3 目的及び効果 友好都市である北海道八雲町がまちおこしとして始めた「八雲山車行列」を参考に、平成元年から始まった小牧平成夏まつりが、平成30年で現在のかたちは、終了となります。平成31年以降の夏まつりについて、検討し、まつりの再構築を行います。

4 事業概要

- 平成29年度に実施した「夏まつりに関するアンケート調査」をもとに、市民、関係団体が参加するワークショップを開催します。
- 平成31年以降のまつりについて様々な意見交換を行い、再構築をします。



拡充

姉妹都市・友好都市交流事業

地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 予算額 21,591千円

2 目的及び効果 姉妹都市・友好都市との友好を深め、今後のより良い関係づくりに寄与します。

3 事業概要

(1) 拡充 姉妹都市提携55周年記念ワイアンドット市派遣事業
姉妹都市提携55周年記念ワイアンドット市受入事業
昭和38年に小牧市・ワイアンドット市との姉妹都市提携が成立し55周年を迎えます。これを記念して、両市で相互交流を行い、姉妹都市提携55周年を祝うものです。小牧市から訪問団をワイアンドット市へ派遣します。また、ワイアンドット市民の方々を迎え、歓迎会を開催するなど、市民同士の交流の機会を作ります。

(2) 拡充 小牧市・八雲町交流30周年記念事業

平成元年に小牧市において小牧市・八雲町交流市民の会が設立され、30周年を迎えます。今後とも、友好都市である八雲町と親善が一層深まることを願って、小牧市にて記念式典を開催します。



基本施策19 農業

担当 農政課

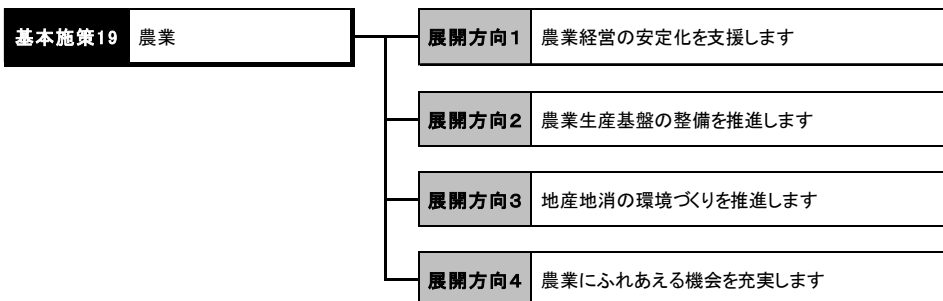
◆基本施策の目的

市民の農業に対する理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤の維持・向上を図り、優良な農地を保全します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
農家1戸あたり生産農業販売実績額	千円	263	200	163	179		↗
耕作放棄地の面積	ha	13	15	16	14		↘

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H30～H32 事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度
70	(仮称)農業公園管理事業 【農政課】	(注11) -	検討		

(注11)既設予算で検討を行うものです。

基本施策20 商工業

担当 商工振興課・企業立地推進課

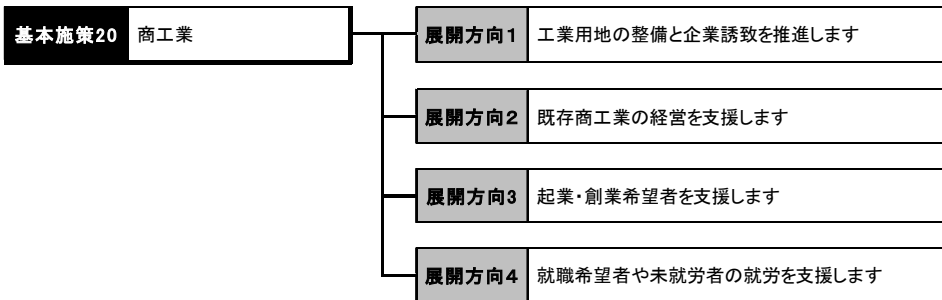
◆基本施策の目的

市外からより多くの人と企業を呼び込み、雇用の拡大にも結び付くよう、小牧市の強みや特性を活かしながら、バランスのとれた足腰の強い産業構造を構築します。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
市内総生産額の県内順位	位	8 (H22年度)	8 (H24年度)	9 (H25年度)	8 (H26年度)		↗
従業者数	人	51,804 (H24年)	—	53,093 (H26年)	—		↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H30～H32 事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度
71	企業立地推進事業 【企業立地推進課】	828,000	実施	⇒	
72	産業活性化事業 【商工振興課】	40,000	実施		
73	金融支援対策事業 【商工振興課】	120,000	実施	⇒	⇒
74	新産業創出事業 【商工振興課】	120,000	実施	⇒	
75	小牧市企業新展開支 援プログラム改定事業 (新産業創出事業) 【商工振興課】	6,000			計画策定
76	こまきプレミアム商品券 発行助成事業 【商工振興課】	348,000	実施	⇒	⇒
77	こまき新産業振興センター 事業(こまき新産業振 興センター施設整備事 業、こまき新産業振興 センター運営事業) 【商工振興課】	73,980	整備	開設	⇒

新産業創出事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 予算額 60,813千円

2 目的及び効果 市内企業への経営安定化・技術力の向上に対する支援に加え、既存の産業集積資源を生かした新事業展開や創業者への支援を推進することにより、新たな需要の創造、新たな産業の創出により地域の活性化及び雇用の創出を図ります。

3 事業概要

○市内企業の操業を支援します。

中小企業経営・技術専門家派遣利用費補助金
中小企業人材育成研修費補助金
中小企業販路開拓支援補助金 など

○次世代成長産業を支援し産業基盤の強化を図ります。

中小企業次世代成長産業設備等導入補助金
航空機部品製造認証取得支援補助金
航空宇宙産業販路開拓支援補助金 など

○市内企業の新事業展開や起業を支援します。

中小企業新産業技術開発支援補助金
中小企業知的財産権取得事業費補助金
起業・会社設立支援補助金
創業支援利子補給補助金 など



○次世代成長産業への参入を希望する中小企業や、創業・起業に意欲のある方を対象としたセミナー等を開催します。

新規

こまき新産業振興センター事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 予算額 11,500千円

2 目的及び効果 市内の産業力を高めていくため、市の施策とリンクした「成長分野への参入促進」や「新事業展開の促進」を図る取組を実施し、将来を見据えた本市の持続的な財政・雇用・産業の基盤形成に寄与するセンターを平成31年4月の開設に向けて準備します。

3 事業概要

○こまき新産業振興センター施設整備事業

中部公民館1Fに新たに設置する「こまき新産業振興センター」の開設に向け、事務所、ミーティングスペース、個別相談スペース等の施設整備を実施します。

○こまき新産業振興センター運営事業

市内の産業力を高め、持続的な財政・雇用・産業の基盤を形成するため、製造業への企業訪問を中心としたマーケティング支援等に取り組む「成長分野への参入促進」や「新事業展開の促進」を図ります。

また、他の産業も含め、専門アドバイザーによる週1回程度の予約相談窓口を開設し、市内の中小企業を支援します。



新たなビジネスチャレンジをサポート

